

表彰状

日本天文学会会員 池谷 薫殿

あなたは、昭和39年7月3日18時15分(世界時)に新彗星を発見されました。本会は、評議員会の議決によりここにあなたが、天文学の進歩および普及に特別の功労があったものとして賞牌並びに金一封を贈呈して表彰する次第であります。

昭和40年5月8日

社団法人 日本天文学会
理事長 一柳寿一

表彰状

日本天文学会会員 本田 実殿

あなたは、昭和39年6月9日18時15分(世界時)に新彗星を独立発見されました。本会は、評議員会の議決によりここにあなたが、天文学の進歩および特別の功労があったものとして記念品を贈呈して表彰する次第であります。

昭和40年5月8日

社団法人 日本天文学会
理事長 一柳寿一

学会だより

◇ 大塚奨学金希望者募集

昭和40年度の大塚奨学金を受けることを希望される方は9月10日までに下記の事載の上、“三鷹市大沢東京天文台内社団法人日本天文学会理事長”宛御申込下さい。

- (1) 氏名、生年月日、年令、性別
- (2) 現住所
- (3) 学歴
- (4) 職業
- (5) 研究題目
- (6) 内地留学をしたいと思う研究機関
- (7) 内地留学を希望する期間と日程の予定
- (8) 奨学金として支給を希望する額
- (9) これまでのおもな研究経歴

註) 大塚奨学金は、日本国内の特定の研究機関で、天文学およびそれに関連する分野の研究を目的とする短期間の内地留学のための旅費および滞在費として支給されるもので、原則として毎年本会会員一名に6万円を授与いたします。なお詳細は会員名簿附録、あるいは天文月報第54巻12号241頁の“大塚奨学金に関する内規”を

御参照下さい。疑問の点については日本天文学会宛に直接御質問をおよせ下さい。

なお昭和36年にこの奨学金が設けられてからの経過は次の通りです。

昭和37年度 早川和夫氏

「月面反射の偏光測定並に月面構造の応用地質学的研究」

昭和38年度 林 耕輔氏

「木星の模様」

昭和39年度 加茂 昭氏(決定)

「写真流星の軌道計算」

◇ 会計係より

いまだに通常会費として400円を御送金下さる方がありますが、通常会費は昭和38年度より1年分600円に改訂されております。お間違えなきよう願います。

地方より、小切手で送金下さる時は、会費よりも100円分余計にお送り下さい。銀行に持参しますと、小切手発行地と照合をいたしますので、手数料として100円だけ、当学会が負担しなければなりません。

なお、切手による御送金は、会計帳簿の整理上、大変困りますので、なるべく御遠慮下さるよう、お願いいたします。当会としましては、現金書留の封筒を利用する御送金を、一番歓迎します。

◇ 日本学術会議中央選挙管理会よりの告示

本年4月の学術会議総会で、会員選挙規則の一部を改正することが決定され、5月4日付官報では公布、施行されました。これに伴い、中央選挙管理会では、有権者名簿の取扱いを、次のとおりにすることを決定しました。

今回の規則改正(5月7日)ならびに管理会の決定は本年11月25日が選挙期日である日本学術会議第7期会員選挙から適用されます。これにより、所属地方区の変更を伴う異動届は7月20日までに提出されたもの限り、有権者名簿を修正しますが、それ以後に提出された場合には、有権者は、地方区選挙については、選挙期日現在の勤務地あるいは住所には関係なく、名簿記載の地方区に所属するものとして投票することになります。

◇ 渋川春海250年記念事業について

江戸時代の暦学の鼻祖といわれる渋川(保井)春海が歿してから、今年は250年目に当たります。この時に当たり、日本天文学会としては、先人の遺績を顕彰するため、国立科学博物館と共催で、本年9月12日より10月24日まで、東京上野の科学博物館において“渋川春海展”を開催し、これに伴う講演会等を行うことになり、目下準備が進行中であります。